

01.メテオラの修道院



ギリシャのほぼ中央にピンドス山脈の麓の世界遺産のメテオラにて、ギリシャ正教の聖地と呼ばれる場所にて、最大規模の修道院メガオ・メテオロンを見学。

メガオ・メテオロンは14世紀に建てられた修道院である。メガオ・メテオロンは山々が連なる場所にある。周辺にもいくつか修道院が存在する。なぜこのような場所に修道院が多く存在するのかというと、人から離れ心を清めるといった説が考えられる。



修道院は300段の階段を登りきった所にある。大聖堂までのアプローチ一つ一つに、空間的な神秘性を感じることができる。神秘性というものは、光の入り込み、空間の高さによる空間演出からきているのではないだろうか。



聖堂内では、キリストの歴史を壁画が広がる。そこでは、訪れた人がギリシャ正教の教えに触れることができた。壁画は、14世紀から現在まで一度も描き換えられることなく大事に保存されていた。また、上部にはステンドグラスがあり、天井にはキリストの絵が描かれていた。ギリシャ正教の信仰心の高さ、建物自体の気品の高さを伺うことができた。



(山田 諭)